

アジアロードレース選手権第3戦が、6月28(金)～30日(日)に三重県鈴鹿サーキットで開催されます。  
アジアスーパーバイク1000、スーパースポーツ600、アジアプロダクション250、アンダーボーン150に  
おけるスポット参戦する枠(ワイルドカード枠)数が決まりましたのでご案内いたします。

< アジアロードレース選手権 日本大会 開催日程 >

第3戦 6月26日(金)～28日(日) 三重県・鈴鹿サーキット

< ワイルドカード数 >

ワイルドカード数:

ASB1000 及び SS600 MFJ 枠 4 名、鈴鹿サーキット枠 2 名、プロモーター枠 2 名

AP250 及び UB150 MFJ 枠 4 名、鈴鹿サーキット枠 2 名、プロモーター枠 2 名

< ワイルドカード参加資格 >

- ASB1000 : 2020 年 MFJ 国際ライセンス所持者 年齢：18 歳以上
- SS600 : 2020 年 MFJ 国際ライセンス所持者 年齢：16 歳以上
- AP250 : 2020 年 MFJ 国内・国際ライセンス所持者 年齢：13 歳以上

但し、国内ライセンス所持者の場合、下記条件を満たしていること。

- ① 年齢 20 歳以下
- ② 鈴鹿サーキット(2020 年 SMSC 2 輪フルコース)ライセンスもしくはツインリンクもてぎ(2020 年 TRMC-S ロードコース 2 輪)ライセンス所持者
- ③ 鈴鹿での走行経験を有し、走行タイム記録を提出出来る者。
- UB150 : 2020 年 MFJ 国内・国際ライセンス所持者 年齢：13 歳以上

< 優先順位 >

ワイルドカード希望者が枠数を超えた場合、下記、優先順位で MFJ 枠を決定する。

- ASB1000 クラス 18 歳以上
  - ① 2020 全日本選手権 ST1000 クラス 第3戦 SUGO 大会までのランキング順
  - ② 2019 全日本選手権 JSB1000 クラス ランキング順
  - ③ 2019 全日本選手権 J-GP2 クラス ランキング順
  - ④ その他 (上記にて該当者のなき場合は別途審議を行う。)
- SS600 クラス 16 歳以上
  - ① 2019 全日本選手権 ST600 クラス ランキング順
  - ② その他 (上記にて該当者のなき場合は別途審議を行う。)
- AP250 クラス 13 歳以上
  - ① MFJ 枠(4 名) : 2019 MFJ カップ JP250 ナショナル、インターそれぞれのランキング順  
※インターから 2 名、ナショナルから 2 名を基本とするが申込み状況により調整する場合がある。

② 鈴鹿枠(2名)：国際、国内の区別なく、鈴鹿走行タイム順（提出書類）

< エントリー料金 参加料金 >

ASB1000	3650US ドル	(約 40 万円) ※1
SS600	2550US ドル	(約 27 万円)
AP250	1650US ドル	(約 17 万円) ※2

※1 ASB1000 の MFJ 枠 4 名については、ST1000 タイヤサプライヤー「住友ゴム工業株式会社」様より ST1000 活性化を目的に参加料金をご協賛いただくことから、エントリー料金は無料となります。

※2 AP250 の MFJ 枠 4 名については、JP250 タイヤサプライヤー「住友ゴム工業株式会社」様より JP250 活性化を目的に参加料金をご協賛いただくことから、エントリー料金は無料となります。

< エントリー料金に含まれるもの(予定) >

ダンロップ指定ワンメイクタイヤ

ASB1000 ドライタイヤ 8 セット、 ウエット 4 セット

SS600 ドライタイヤ 5 セット、 ウエット 3 セット

AP250 ドライタイヤ 4 セット、 ウエット 2 セット

注意:エントリー代には燃料代は含まれておりません。

大会の 2 週間前に燃料代が確定しますので、プロモーターからの決定通知時点で再度ご案内します。

また、タイヤに関しては最大使用本数を表しており、使用、未使用に関わらず持ち帰ることは出来ません。

< 申請方法 >

下記よりエントリー用紙をダウンロードし、ご記入の上、下記エントリー先に送付してください。

尚、AP250 における国内ライセンスの方は、選考基準となります鈴鹿走行タイム書類の添付をお願いいたします。

< エントリー先 >

◎鈴鹿大会

申込期間： 5月16日(日)～5月28日(木)

申込み先： 鈴鹿サーキット SMSC 事務局

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992 tel: 059-378-3405